

諏訪地方の 経済概況 速報

2015.04

2015年3月末調査／2015年4月25日発行

SUWA AREA
ECONOMIC
OVERVIEW



諏訪信用金庫
SUWA SHINKIN BANK

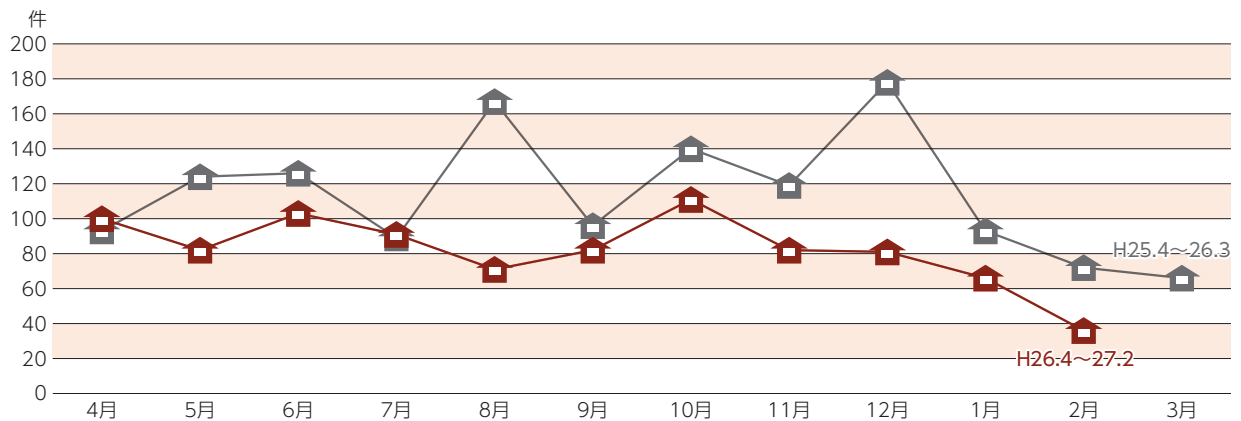
諏訪地方の概況

年度末の3月は、日経平均株価が4年連続で上昇し、15年ぶりの高値で終わった。この1年では株価は約3割上昇し、円相場は約17円下落した。円安を追い風にした輸出関連の大企業の業績が改善基調となる一方で、消費増税以降、個人消費は回復の力強さを欠く状況は諏訪地方にも影響を及ぼしている。製造業は取引先の動向によって差はあるものの、受注が増加した企業が増えている。一方で、非製造業は円安に伴う仕入価格の上昇が影響して動きが鈍く、消費者の節約志向も続いている。雇用情勢は一部に停滞感があるものの、労働力需要は上昇している。また、諏訪地方の地価は住宅地、商業地とも下落幅は縮小している。

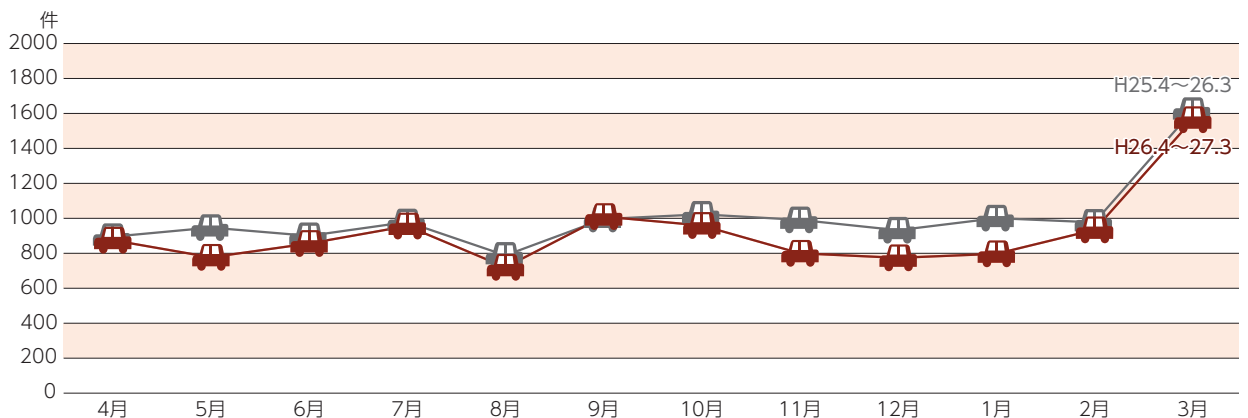
(諏訪信用金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ)

		実数	前年同期比
有効求人倍率【2月】(諏訪公共職業安定所管内)		1.14倍	0.18ポイント
手形交換高【3月】(諏訪手形交換所扱)	枚数	7,328枚	1,174枚
	金額	9,719百万円	2,418百万円
うち不渡り発生状況	枚数	3枚	3枚
	金額	3,116千円	3,116千円
電力使用量【3月】(中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	64,248 MWh	△8.0%
	高圧電力計	97,978 MWh	△4.2%
	合計	162,226 MWh	△5.7%
車庫証明取扱件数【3月】(諏訪地方合計)		1,564件	△3.2%
新設住宅着工戸数【H26年4月～27年2月】(諏訪管内)		905戸	△30.2%

■新設住宅着工件数の推移(諏訪地方合計)



■車庫証明件数の推移



総体的に受注増となっている企業が増加傾向で、わずかながらベースアップや賞与上乘せを予定する企業も見られる。輸送用機械関連で自動車部品は、メーカーや取引先の状況によって受注環境に差があるが、総体的にはおおむね堅調に推移している。重機関連の部品加工も安定推移している。工作機械や専用機などの一般機械は、海外向け自動車関連や国内のトラック向けの関連機械が好調になっているほか、設備投資増加に伴い省力化機械などでも動きがある。例年受注が減少する時期の落ち込みが少なかった企業もある。金属製品加工もコスト高の課題はあるものの、幅広い分野からの受注が見られる。単価面で海外へ移った製品が、技術力が再評価されて一部戻ったケースもあった。電気機械は、コンダクターや情報機器関連で活発な受注が続きフル稼働の企業がある反面、回復に苦心する企業もある。精密機械は、円安で大手取引先の業況が回復し、新機種などで回復の兆しが見られる。圧力計も好調が持続している。

金属製品 プレス、メッキ、熱処理など	取引先によって受注に波があるものの、スマートフォン関連を中心に回復傾向の企業が増えている。技術力がある企業は取引先数も拡充している。自動車関連は堅調に推移しているが、国内向け販売の不振で、一時的な減産見通しもある。医療機器関連は安定した動きとなっている。短納期が多く、中長期的な予測がしにくい面がある。
一般機械 工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など	海外向け自動車関連機械は旺盛な受注が続いている。自動車、医療、食品関連で搬送用機械も安定して推移し、大手企業の設備投資に底堅さを感じている企業もある。取引先の設備投資とともに、省力化機械なども徐々に増加傾向となっている。例年落ち込み期間となる1～3月に繁忙だった企業もあった。半導体冷却装置関連も好調な動きがある。
電気機械 家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど	取引先の状況や取扱い製品によって、好調な企業がある反面、回復が見られない企業もあり、格差が出ている。電源装置関連は活発な受注状況で、生産工程効率化のための設備投資をする企業がある。反面、プリント基板関連は海外シフトが進み厳しい状態が続いている。プリンターは生産調整の影響を受けやすいが、春先からの増産に期待感がある。
輸送用機械 自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など	自動車関連は大手メーカーの状況によって差があるものの、総体的には北米向けを中心に堅調に推移している。各自動車メーカーの部品は海外調達の基本だが、品質面などから国内調達もあり、一部では国内回帰の動きもある。自動車の電装化に伴い、コンデンサー部品で増産の動きがある。重機関連の部品加工も安定している。ただ、中国経済の減速などで先行き不安感もある。船外機の受注は小型、大型向けを問わず、総体の受注量が増えている。
精密機械 時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など	レンズの生産は海外主体になっている中で、国内では監視カメラや研究機関連向けレーザー用レンズ、車載レンズが堅調。取引先企業の業況改善に伴いカメラの高級機種関連の受注が増加した企業もある。また、これまで低調だったメーカーからの依頼も出始めている。プロジェクターは教育機関連や新興国向けに需要がある。圧力計は引き続き好調で、生産が間に合わない企業がある。
製造業全般	衣料品製造は高級品の受注が増加傾向だが、原材料の値上がりを価格転嫁できず、収益面で影響を受けている。味噌などの食品製造でも同様な傾向が続いている。

商業

「駆け込み需要があった前年より減少」

消費増税前の駆け込み需要があった前年同月と比べると、総体的に減少傾向になっている。ただ、一部商品価格を据え置き、節約志向の消費者に格安感を出し、来店客数や売上を伸ばした店舗もある。自動車販売は、諏訪地方の3月の車庫証明件数が1,564件で、前年同月比52件、3.2%減少した。平成26年度合計は前年度比で1,023件、8.5%減少の11,022件となった。

衣料	一部店舗を除き、前年同月比で低調に推移する中で、気温が上昇し、春物衣料やフォーマル関連には動きがあった。
食料品	パスタやうどんなどの乾麺やコーヒーは、原料不足に円安が加わり高値となった。豚肉も高止まりしている。今後の値上げも懸念されている。
家電製品	パソコンや周辺機器の動きは鈍く、デジカメの買い替え需要も低調。
自動車	県内の3月の新車新規登録台数は、登録車が8ヶ月連続で減少し、軽自動車も3ヶ月連続で減少した。全体では前年同月比1,707台減少(△9.2%)の16,857台で、3ヶ月連続で減少した。
ホームセンター	自転車や文房具などの入学準備用品、衣装ケースやベッドなど新生活用品が動き、諏訪地方から関東方面へ宅配するケースも見られた。

観光・サービス業

「今季のスキー場はおおむね好調」

3月の天候は、月平均気温が1945年以来、3月としては3番目に高く、月降水量も下旬にはゼロとなり、湿度も低く岡谷市など各地で火事が起きた。ゲレンデの雪解けが予想以上に早く、やや影響があった施設もあるが、諏訪地方のスキー場は今シーズン、おおむね好調に推移した。スキーやスノーボード以外の冬山登山やスノーシュー客も増加した。昨年は2月の大雪で3月が増加したが、今年は3連休がなかったにもかかわらず、前年同月比増加した施設もある。一方、上諏訪温泉は、円安の影響で海外からの旅行客の増加傾向が続いている。今後も中国や台湾、東南アジアを中心とした予約は多い。外国人に人気の立山黒部アルペンルート関連の予約競争は一層激しさを増している。

上諏訪温泉	宿泊客数は前年同月比で60%~120%台で、海外からの旅行客が大幅増加した。諏訪地域内では、ネット予約の価格競争が激化し、宿泊客数が増加しても最終利益に結びつきにくい施設もある。善光寺御開帳関連は、金沢や群馬が主流の宿泊ルートとなっているため、予約は低調な動きとなっている。
蓼科・白樺湖・車山等	スキー場と連携したサービスパックやファミリー層への注力などの取り組みが見られ、前年同月比売上増加の施設が多い。霧ヶ峰の雪崩の影響は少なかった。GWの予約は出だしが早くなっている。
下諏訪温泉	大雪の影響が残った昨年に比べると、宿泊客は増加している。4~5月の予約状況は順調な動きとなっている。
諏訪大社	上社・下社合わせた3月の参拝者数は約39千人。前年同月比では約2千人、5.4%増加した。

建設業

「市町村の公共工事前年同月より減少」

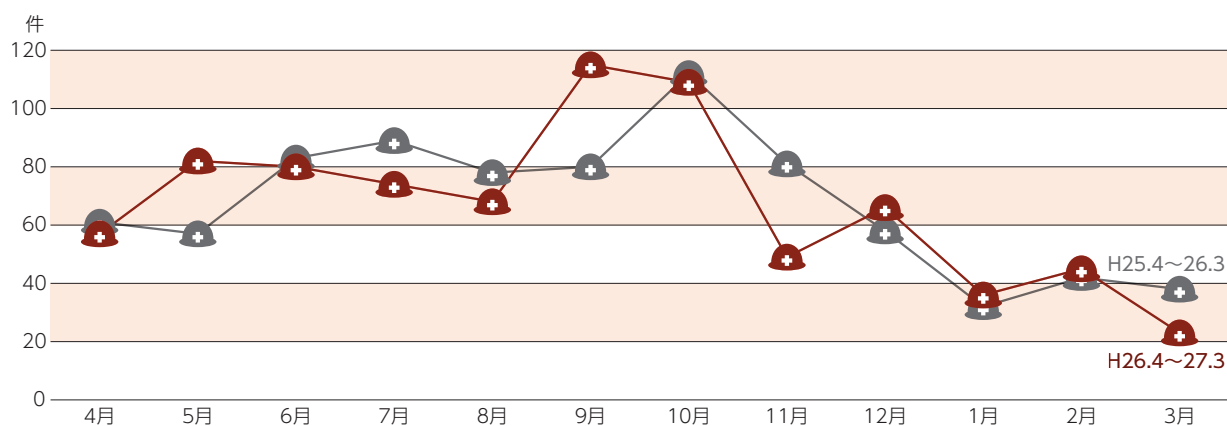
3月の市町村からの受注工事は、合計23件、1,110百万円となった。前年同月に比べ、件数は15件、契約金額は2,034百万円減少した。一方、国県関係の平成26年度の累計公共工事（地元業者受注分）は前年度比で件数は下回ったが、契約金額ではやや増加した。民間工事は、諏訪地方の2月の新設住宅着工戸数が36戸で、貸家の減少幅が大きく、前年同月比36戸の大幅減少（△50.0%）となった。

公共工事	<p>3月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、諏訪建設事務所6件、長野国道事務所等国県関係2件の合計8件で、契約金額は718百万円だった。平成26年4月～平成27年3月の累計は140件、5,927百万円となり、前年同期の累計比で件数は29件減少したが、契約金額は126百万円増加（2.2%）した。</p> <p>市町村からの3月の受注工事は、岡谷市の西部中学校管理教室棟改築工事の大型案件などがあり、建築工事3件685百万円、土木工事及び下水道工事15件、235百万円、その他工事5件190百万円の合計23件1,110百万円となった。</p>
民間工事	<p>諏訪地方の2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比の利用関係別で「持家」は10戸減少の31戸、「貸家」は24戸減少の0戸、「分譲」は1戸減少の5戸となった。平成26年4月～平成27年2月の累計は905戸で、前年同期累計比では392戸の減少（△30.2%）となった。</p> <p>長野県内の2月の新設住宅着工戸数は633戸で、前年同月比16.9%減少した。前年同月比の利用関係別では、「持家」が395戸で12.4%減少、「貸家」は174戸で27.2%減少、「給与」は1戸で75.0%減少、「分譲」は63戸で7.4%減少した。</p>

■諏訪地方の2月の新設住宅着工状況

区分 市郡名	合計 戸数	前 年	利用関係別								構造別			
			持家	前年	貸家	前年	給与	前年	分譲	前年	木造	前年	非木造	前年
岡谷市	6	37	6	9	0	24	0	0	0	4	6	34	0	3
諏訪市	12	16	7	15	0	0	0	0	5	1	9	13	3	3
茅野市	12	11	12	9	0	0	0	1	0	1	10	10	2	1
諏訪郡	6	8	6	8	0	0	0	0	0	0	6	8	0	0
合計	36	72	31	41	0	24	0	1	5	6	31	65	5	7

■公共工事の推移（市町村合計件数 調査・測量・設計など業務委託は除く）

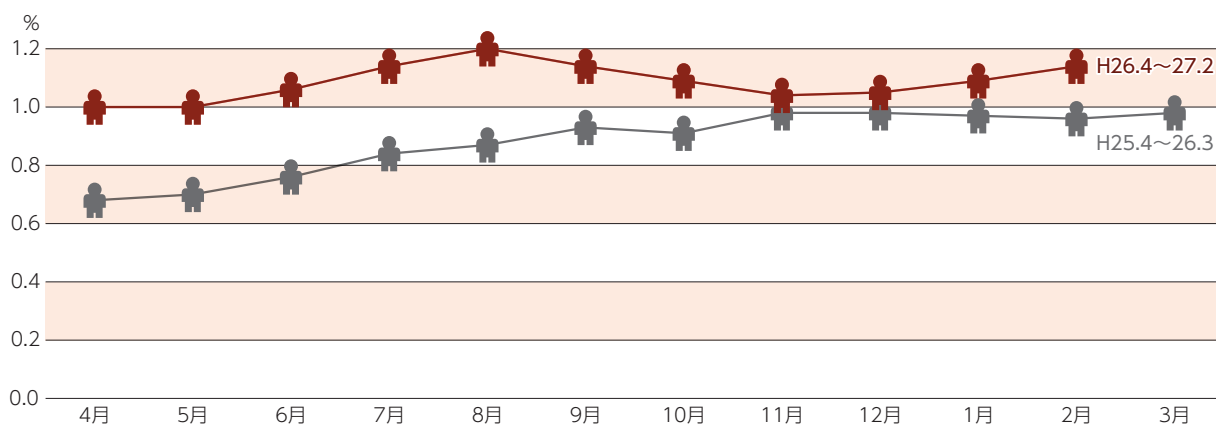


雇用

「有効求人倍率が前年を大幅に上回り、総合判断引き上げ」

諏訪地方の2月の有効求人倍率は、前年同月を0.18ポイント上回り、前月を0.05ポイント上回る1.14倍となった。前年同月を上回るのは21ヶ月連続となった。月間有効求人数は4,114人で、昨年10月以来、4ヶ月ぶりに4,100人台となった。諏訪公共職業安定所は昨年4月以来、10ヶ月ぶりに総合判断を引き上げた。長野県平均は1.21倍で2年ぶりに前月値を下回ったが、全国平均は1.15倍で、県内は8ヶ月連続で全国を上回っている。諏訪地方の新規求人(全数)は1,477人で前年同月比13人減少(△0.9%)した。要因別では「業務量増大」「欠員補充」「創業・新分野展開」が増加し、「継続する人員不足」は減少した。業種別の前年同月比の新規求人数は、「生活関連サービス・娯楽業」で増加し、「その他サービス業」「卸・小売り業」で減少した。新規求職者数は898人で、前年同月比89人減少(△9.0%)した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は46人で、前年同月比3人増加し、前月比でも4人増加した。

■有効求人倍率の推移



《企業のひとこと》

- 現在の中小企業は優秀な人材を必要としているが、大手企業が採用を増やしているため、地元の採用が難しく、人材が不足している(一般機械製造業)。
- 主たるメーカーがどこかによって好不調が分かれるが、多くの企業はリーマン・ショックのころから、1社依存ではなく、取引先を増やして対応している。それでもアベノミクスは、諏訪地域に格差という悪い形で表れているのでは(精密機械製造業)。
- 試作は非常に多いが、採用される点数は少なく、時間もかかる(輸送用機械製造業)。
- 軽自動車税の引き上げに伴う駆け込み需要を期待したが、大きな動きにならなかった。(自動車販売業)。
- 昨年の高騰から、燃料代が一気に下がり、収益面で楽になった(運送業)。
- 総体的に予約客が少ないが、接待など法人関係の利用がやや増加している(飲食店)。
- 人手不足が解消されず、職安に出しても年配者しか来ない(建設業)。
- 製造業に動きが出て、工場物件の引き合いが出てきている(不動産業)。
- ゴールデンウィークの予約が早めの動きで、後半は混雑が予想される(観光業)。

— 2015年の公表日の前営業日時点で利用可能であった情報をもとに取りまとめ。

長野県経済は、生産の一部になお弱さを残しつつも、緩やかに回復しつつある。

最終需要の動向をみると、公共投資は高水準横ばい圏内で推移している一方、住宅投資は前年を下回った。この間、設備投資は緩やかに増加している。また、個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

以上のような最終需要のもとで、生産は一部になお弱さを残しつつも、緩やかに回復している。このほか、雇用・所得は、着実な改善が続いている。なお、企業の景況感をみると、製造業、非製造業ともに改善している。先行きは製造業で小幅の改善を見込んでいる。

生産

IT関連では、半導体関連および電子部品は、自動車関連に弱さが残るものの、スマートフォン向け需要の好調さを受けて、生産は改善テンポの鈍化した状態から脱しつつある。

自動車関連では、国内向けで一部に弱さがみられるものの、北米向け等の海外需要の堅調さを背景に、生産は高めの水準で横ばい圏内の動きが続いている。

機械・同関連部品等では、バルブは、プラント向け需要が増加していることから、生産は足もとでは増加している。成形機は、内外需要の増加により、生産は緩やかに回復している。工作機械は、中小企業の設備投資の動きに慎重さが窺われるものの、内外需要の増加により、生産は緩やかに回復している。計器は、自動車向け等の需要が増加しつつあることから、生産は持ち直している。

飲料は、弱い動きもみられるが、緩やかに持ち直している。

個人消費

県内大型小売店 (百貨店、スーパー) 売上高 (当店調べ<店舗調整前>) をみると、2月は一部に弱さがみられるものの、消費者マインドの持ち直しを背景に緩やかに回復しつつある。

家電販売は、2月は一部に持ち直しの動きがみられるものの、全体としては前年を下回った。

自動車販売は、2月は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、前年を下回った。

公共・住宅投資

公共工事請負額をみると、2月は市町村が増加したものの、国、県、独立行政法人等の発注分が減少したことから、前年を下回った。

住宅着工戸数をみると、2月は持家、貸家、分譲、給与が減少したことから、前年を下回った。

雇用・所得

有効求人倍率をみると、2月は新規求人数が増加していることから、回復傾向にある。所得面では、1月は一人当り名目賃金が前年並みとなった中、常用雇用者数が前年を上回ったことから、雇用者所得は前年を上回った。

輸出・企業収益・設備投資

輸出は、14年度は増加する見込み。15年度は前年度を上回る計画となっている。企業収益は、14年度は増益となる見込み。15年度は年度上期を中心に減益計画となっている。設備投資は、14年度は増加する見込み。15年度は非製造業を中心に前年度を下回る計画となっている。

物価

消費者物価指数 (除く生鮮食品) をみると、2月は食料や教養娯楽、光熱・水道が上昇したことを主因に、前年を上回っている。



SUWA SHINKIN BANK

諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

TEL 0266-23-4567 FAX 0266-23-8044

<http://www.suwashinkin.co.jp/>